

週刊時事経済

発行所
平 市 新 川 町 17
電 6415
発行人 田原 登
毎月 15日 発行
社 支 社
郡 山 市 大 町 54
電 3006

丸萬家具店
地蔵で評判の店
店舗 平市四丁目
電話 六六三三
工場 平市白銀町
電話 六六三四

有意義裡に報徳全国社長大会

普及を図り道の実現へ

第五回報徳社(社長戸塚九一郎氏)の全国大会は去る八月二十五日内郷市御所にて新築成った報徳会館で全国から約五百名出席、盛大に開かれた。報徳社の中山事務理事の開会の辞に次いで開会地を代表して野不力行会長報徳社長の挨拶、戸塚社長が急病のため欠席したので東大農学部長の神谷豊治副社長のあいさつ、来賓として出席した木村代議士、平市長、平市長代り鈴木教育長、荒井農務水産課長、地元の根本員二氏、富田高慶、報徳の血を流している富田平工校長、鯉岡観光連盟局長らの祝辞後、神谷副社長のあいさつで左の宣言、決議を満場一致で決めた。宣言は、(写真は大会風景)

宣言 先聖二宮尊徳を避け、一円融合の美をあげ先生は遺教は、人間の創造力し着実にその成果を把握する人道作の文化社会を實現せんとするものであり、対立現出するとは希望なく



報徳の普及で郷土建設

木村代議士の祝辞

木村代議士の祝辞要旨... 報徳社の社長戸塚九一郎氏が建設大臣の時代私を主都閣建設事務次官に任命された。私はそんな方々をたいた仕事は免れたが、戸塚社長はなかなか面白い仕事だからと見ると再三の懇望だったのでお受けした。

その戸塚さん人柄に敬服していたのでなく、本目お会いたかった。同僚の同僚で、病欠欠席のことでも残念です。いま郷土は新産都市建設の指定になりやがて非常なる経済の成長を見ることになるが、経済の成長だけでは理想の郷土は誕生しない。

これに伴って精神面の成長がなければならぬ。二宮尊徳先生の偉大な教訓を尊奉して、報徳主義の普及こそ現代に必要である。関係各位には積極的な推進して物心両面の確立を期し、美しい郷土の建設をして欲しい。

新産都市へ朗報
合併問題を協議
新産都市づくりの市町村合併が前提条件で早くも双葉郡久之浜町大久村をいれて常磐地区十四市町村を打って一丸とした合併協議が断り入り上った。県石城事務所内にある常磐地区新産都市建設協議会では合併への各種資料を関係市町村から調査して、今のところどの市町村も合併は石城の必須な運命と信じているようである。合併に反対するものが無くてこの機会に市町村合併を実現すべきだとする。一旦石城事務所内に石城郡十二市町村長が集まり、合併促進協議

郡山支社九月から開設
常磐、郡山地区が新産都市の指定を受け、ともにこれが実現へ密接な関係を生じてきた。従って新聞の使命も又重く大々的参りしたが、幸いにも元福島民報記者で郡山市において「政経時論」を発行して来た森田忠政氏の政経時論社と本社が合併、時事経済の郡山支社を新たに開設、前記の森田氏が支社長として就任、郡山市におけるニュースを九月から本紙に掲載することになりましたので御期待下さい。郡山支社は郡山市大町四四三〇〇六

水に悩む合磯に送水

磐城市の仁徳に喜ぶ

水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。

十一月に総選挙か

早くも選挙のムード上る

来る十一月末ごろに総選挙が行なわれる形勢となってきた。早くも選挙ムードが上り、自民党から木村守江、斎藤邦吉の現代議員の出馬は動かしがたい。社会党の松井政吉、現代議員の立候補は確実である。

合併問題を協議

新産都市へ朗報

新産都市づくりの市町村合併が前提条件で早くも双葉郡久之浜町大久村をいれて常磐地区十四市町村を打って一丸とした合併協議が断り入り上った。県石城事務所内にある常磐地区新産都市建設協議会では合併への各種資料を関係市町村から調査して、今のところどの市町村も合併は石城の必須な運命と信じているようである。

水に悩む合磯に送水

磐城市の仁徳に喜ぶ

水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。

合併問題を協議

新産都市へ朗報

新産都市づくりの市町村合併が前提条件で早くも双葉郡久之浜町大久村をいれて常磐地区十四市町村を打って一丸とした合併協議が断り入り上った。県石城事務所内にある常磐地区新産都市建設協議会では合併への各種資料を関係市町村から調査して、今のところどの市町村も合併は石城の必須な運命と信じているようである。

水に悩む合磯に送水

磐城市の仁徳に喜ぶ

水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。

合併問題を協議

新産都市へ朗報

新産都市づくりの市町村合併が前提条件で早くも双葉郡久之浜町大久村をいれて常磐地区十四市町村を打って一丸とした合併協議が断り入り上った。県石城事務所内にある常磐地区新産都市建設協議会では合併への各種資料を関係市町村から調査して、今のところどの市町村も合併は石城の必須な運命と信じているようである。

水に悩む合磯に送水

磐城市の仁徳に喜ぶ

水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。水不足に悩む平市豊間の合磯地区(三十戸)へ磐城市の上水道から水を送ることに。磐城市の仁徳に喜ぶ。

合併問題を協議

新産都市へ朗報

新産都市づくりの市町村合併が前提条件で早くも双葉郡久之浜町大久村をいれて常磐地区十四市町村を打って一丸とした合併協議が断り入り上った。県石城事務所内にある常磐地区新産都市建設協議会では合併への各種資料を関係市町村から調査して、今のところどの市町村も合併は石城の必須な運命と信じているようである。

結婚式や諸会合に
お気軽に御利用下さい

デラックスな設備とよい環境

報 徳 会 館

平 駅 から バス 5 分
内郷市御所電 5522・5523

店舗改装記念大売出し

9月13日~9月20日

家具センター ナガキ

平市三丁目 TEL4535

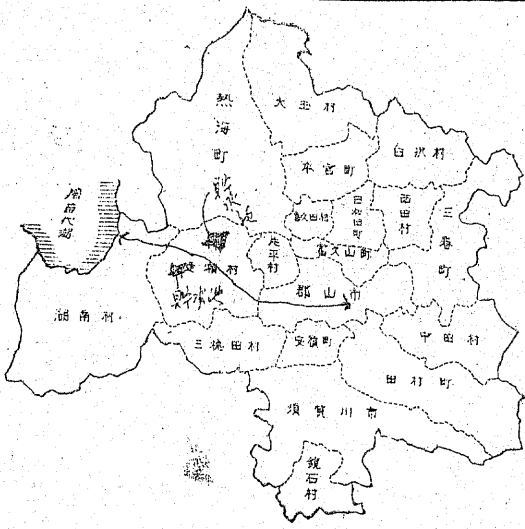
9月～11月新産都市指定で盛大に

郡山将来の上水道

30万人給水計画成る

郡山新産業都市指定に伴う上水道拡張計画は郡山市水道事業所に於て指定前から実施計画がなされていたがこの程更に研究を加へ將來の大都市上水道計画が完成した、これによつて將來総人口三十万二千

人計画給水普及人口二十四万人一日最大給水量九万六千立方米となる、また導水管は湖南村浜路地内沢道より御霊川峠を抜き導水管で逢瀬村堀口上流に落水し、一方湯の原、大久保岡貯水池と合流して郡



年内解散の体勢整う

政局年内解散の空氣濃厚となり自民県連は十三日郡山市開成山熱田家に於て総会を開き各区それぞれ公認数を決定した中通り一区は現役の龜岡代議士元天野光晴氏、新顔として粟山ひで氏の三名にしほり全獲を期すことになった、県北は、龜岡、天野両氏の地盤郡山市、安積郡には粟山氏の外名乗り出る有力候補が現在見当らないので同氏に落つたものであるが氏は故粟山元代議士の姪と云うので支持されてゐる。

間最大給水量 六、〇〇
D分のm3

郡山商工会館着工

郡山商工会館は去る八月末
億四千万円で郡山市安藤建
が落した。着工は九月末
明年八月末に竣工する予定

L=400m		多田野白石より送水管（現在）	D800m分のm
(5) 配水管	1	多田野～川 田	D 1400m分のm
	2	大槻町～川 田	D=300m分のm
	3	川 田～荒 井	D=350m分のm
	4	南 町～久留米	D=500m分のm
	5	久留米～荒 井	D=400m分のm
	6	多田野～片 平	D=500m分のm
	7	片 平～開感山	D=400m分のm
	8	南 町～桑の北町	D=600m分のm
	9	大槻町～福良沢	D=250m分のm
	01	桑の北町～大重	D=600m分のm
	11	大 重～方八丁	D=500m分のm

$L = 2.000\text{m}$
 $L = 8.700\text{m}$
 $L = 3.400\text{m}$
 $L = 4.200\text{m}$
 $L = 1.800\text{m}$
 $L = 900\text{m}$
 $L = 7.000\text{m}$
 $L = 4.200\text{m}$
 $L = 1.700\text{m}$
 $L = 1.600\text{m}$
 $L = 3.500\text{m}$
 $L = 2.300\text{m}$

(2) Ⅱ 一、八〇〇 M
湯の原貯水池蓬瀬村多田
地内 流域面積 七五一
万平方メートル 貯水池水面積
二十八万平方メートル築高四
十五米 平門水深二十三
米貯水庫六四四万平方メートル
多田野堀口に浄水施設す
る。1 用地買収一〇〇
〇〇 M 2 2 竣工速ろ
か池 一三面(予備一面)
(四〇カケル三)、五カ
ケル二七七二面の有効
ろか面積二三、四二三
ろか速度〇〇分の六 M Ⅱ
八、〇〇〇カケル二 Ⅱ
九六、〇〇〇分の三 Ⅱ

(4) 3 配水池 時間最大使
用料の八時間分四八、〇
〇〇 M 三 五〇 M D カケ
ル(2) 池の貯水六、〇〇〇
〇 M 三 八池築造 四等
の他の工事 ろか池及び
浄水池築造に伴う引出管
引入管ろか設備調整井、
分水井等を設備し更に維
持管理に要する事務所及
職員公舎等を建築する。
現在の郡山市貯水ちまで
は多田野堀所より送水管
を布設する
送水管 D 九〇〇 M 分
の三

栗山氏に公認推薦決定

正式に決定したが地元ただ一人の公認だけ有力な地位に立つことになった（写真は栗山ひで氏）

支部長 佐藤 保雄
幹事長 伊藤 亀三郎
顧問 大野 正一

中央商工会館
8、着工 昭和三十八年八月一日(予定)
9、完工 昭和三十九年五月三〇日(予定)
10、予算 (収入の部) 会議所自己金
財源 三、五〇〇万円 寄附金 六、〇〇〇万円 保証金 四、五〇〇 補助金 九、〇〇〇万円 借入金 住宅金融公庫 六、〇〇〇万円

新産業都市
指定の裏話し
篤聲、郡山地域新産業都市の本申請は過般県より提出されたので而地域開発の全額がはつきりしているところが、この新産業都市指定には財閥関係が大きいと最近裏話が出てくる。常磐地区は三菱財閥、郡山地区は住友財閥に別れ計画されたものであり、従って今後の開発方向は財閥の考え方で決るのであると見られており、財閥との関係に於て事業が実施されて行くことになるのは当然である。

これ等の関係から秀瀬郡山市長の社説離任には問題でなかつたと見る向もある。然し地方開発は今後急速に進められなければならない。一番重く動き出したのは地価の上昇である。国道筋には一、三三、千円乃至は二、千円今後地上界の気配を示している。そのため市町村も工場地帯との問題で頭を悩まして地域開発のため市町村住民の協力を要する声が高まって来たことが目立つ。

竣工は明年8月の予定

ブ
ロ
ッ
ク
製
造
販
売

土
木
建
築
請
負

シート(旧)斑目マツ
加藤 マツ

天幕・ヒヨケ・運送用シート
各種自動車幌・室内カーテン
装飾式・防水加工

郡山市阿弥陀町七六電話(2)〇九六五

伊藤工務店

安積郡日和田駅前
電日和田六〇四〇

うすゐ

郡山市中町

株式会社 高橋健三商店

郡山市陣屋通り

取締役社長 高橋 健二

小鳥專門

フルタ飼鳥店

福島県郡山さくら通り
電話 二二〇七番

